

埼玉県発注公共事業に関する  
埼玉県内建設業者アンケート調査  
報告書

別紙  
「自由回答一覧」

(2010年3月)

特定非営利活動法人  
建設政策研究所

「埼玉県および県内市町村発注公共工事の県内建設業者向け発注量増加のための県や市町村の施策に対する要望」 .....	III
「2008 年度に受注した埼玉県発注公共工事の採算状況（完成工事総利益率）―赤字の原因―への意見」 .....	VII
「埼玉県発注公共工事の設計や積算・予定価格について、特に問題と思われる内容への意見」 .....	VII
「辞退理由―その他の回答―」 .....	IX
「埼玉県発注工事における低落札率の原因―その他の回答―」 .....	IX
「地域への貢献―具体的内容―」 .....	X
「地域への活動―具体的意見―」 .....	XII
「国および地方自治体への要望―具体的意見―」 .....	XII

## 「埼玉県および県内市町村発注公共工事の県内建設業者向け発注量増加のための県や市町村の施策に対する要望」

- ◇ 税収より職員給与にかかる費用が大きいため、本体事業費までお金が回らないのではないでしょうが地域に合った給与体系にしてください。
- ◇ 増やすのは難しいのではないかと。土木施設維持管理の業務は増やせると思っている。当社はこの割合が売上の70%を占め、公共工事の現状に反映していない。来年度は売り上げ10%以上に伸びる予定。5年前に比べれば20~30%伸びている。
- ◇ ①道路財源を確保するための税制度が必要②入札条件に地元優先の条件を加える事
- ◇ 補助金を増やし、地元業者を優先する。
- ◇ 役務の提供→最低限度を設定
- ◇ 県内市町村業者の実態調査、自社施工・自社管理・自社設備、業者（小企業）の意見も取り入れ施行方法を考える。
- ◇ 市町村の一部では分離発注も成されず、受注機会は皆無である。今後は入札の透明性を踏る意味や価格の低減（競争）を目的として、専門工事は分離発注と一般競争入札を実施していただきたいと思えます。監理は設計事務所に対応されれば、専門職員が在籍しなくも出来ると思えます。
- ◇ 大手会社の参入はひかえてほしい。技術的な問題はクリアできていると思う。
- ◇ 技術評価、地域性の優先（地方税金ですから）
- ◇ 県内に本店がある業者にする
- ◇ 建設地周辺の業者での指名競争入札
- ◇ 地元優先の発注と専門工事の分離発注
- ◇ 入札参加者が多すぎる。2. 最低価格が割り込む場合があり、なかなか受注できない。一部の業者が受注しているので、最低価格をなくすか又は順位を決めて公正な受注方式を考えてください。
- ◇ 大手受注の工事の場合地元の業者を使用して欲しい。
- ◇ 他市町村の業者特に同和系の会社の支店、営業所を指名しないで欲しい。
- ◇ 1社受注金額の上限を決めていただきたい
- ◇ 地域を限定し入札参加させる
- ◇ ランクによる資格条件を少しでも入札できる仕組み。DがAに入札はしないが、Bランクの工事は出来ると思えます。
- ◇ 総合評価方式を廃止し、ダンピング抑制の為に最低制限価格を徹底し、設計金額を事後発表にすること

- ◇ 行政との災害協定等の締結などによる、地元発注や建設協会組合員への発注
- ◇ 県内に本社があり、かつ、当該市町村に主たる支店があるもののみに入札を認めるという一般競争入札
- ◇ 県内本店業社を優先対象とする分離発注をする（市町村）、一般競争にする
- ◇ 専門工事は、それぞれの専門業者に発注する。
- ◇ インフラ整備を優先する。
- ◇ 一般競争の参加資格を県内業者・市内業者になる様設定して欲しい
- ◇ 地元を優先にし、零細企業に発注量が増えれば、技術者も集まりよい。
- ◇ 零細企業に支援をして
- ◇ 大手ゼネコンが下請、孫請まで引き連れて全国で工事を受注している形態を正すべきです。せめて地元の工事の下請けや孫請け工事を地元の業者が受注できるようにすべきです。
- ◇ 予算の獲得
- ◇ 発注量を増やしても、価格の低下を行う方が良いと思います。
- ◇ 県内・市内の業者を使ってほしい
- ◇ 県内・市内業者指名入札とする。
- ◇ 見積り物件が引合なし
- ◇ 工事の大きさを細かく分けて出してくれると仕事量が増加する。
- ◇ 当社の得意とする、特殊工事を主体とした工事の発注を行ってほしい。
- ◇ 金額に合わせて2～3のJVをさせてほしい。
- ◇ 指名落札の案内が中々こない。事業が小規模の為と思う
- ◇ 一般競争入札の項目(参加)に地域限定を導入してもらいたい。
- ◇ 公告条件に本店所在地を入れる
- ◇ 本店所在地の重視、・市町村の地域への活動（災害出勤、清掃活動への参加、安全防犯への参加）協力度
- ◇ 発注地方公共団体に税金が落ちる様、地元業者を優先し、分割発注も考慮してほしい。
- ◇ 県内に本店を有する業者として参加発注
- ◇ ある程度指名入札を地区単位にて行ってほしい。今はあまりにも幅広い参加者による
- ◇ 地元業者を指名する
- ◇ それぞれの市町村で実施しているように小川町も一定金額（3000万以下）の工事は地元業者のみの指名にするべきと思うが、わずかな工事であっても他の業者を入れて実施している。行政側は考えてほしいです。
- ◇ 埼玉県内、および市町村区内の業者を重点的に指名し、下請け業者も県内市町村内業者にすること
- ◇ 地元業者の育成

- ◇ 不良業者を指名しない
- ◇ 公共工事を増やす事
- ◇ 地元業者に発注して地元の作業員の生活を豊かにする最低落札金額も必要ではないか
- ◇ 耐震工事に伴う大規模子改修工事、太陽光発電設備の積極的な取り組み
- ◇ 埼玉県内に本店を有する業者のみ入札参加者とする
- ◇ 小さな物件に分けて、発注の数を増やす
- ◇ 一般入札が多いため最低価格金額が多く利益・経費が出ません
- ◇ 総合数値の点類で入札の時に差をつける
- ◇ 当社は鋼管杭の回転埋設工法を専業としており杭製造工場も県内2ヵ所あり、建物の耐震補強杭施工も大臣認可を取っておりますが、県は話も聞いてくれなく困っている。
- ◇ 現在当町では管工事の物件に土木業者も参入してくるようになりました。(実際の施工は管工事の業者が下請けで施工したりします。特定の管工事業者が受けています) 年間発注される物件は同じなのに土木業者の参入で施工物件が少なくなりました。
- ◇ 随意契約がすべて悪のように言われるが、法的にも認められている契約形態であり、業務の性質上必要であれば認めるべきと考える。役人ももう少し積算をしっかりと自分で行い、適正価格での設計を行ってほしい。
- ◇ 地元業者育成の観点から地元業者優先とする
- ◇ インターネットになってわからなくなった
- ◇ 県や市町村の発注テーマに地域経済、地域循環を優先する発注様式を取り入れるべきだ。
- ◇ 本社を県内各市町村に有る会社を有資格者とし、外部の者が参画する場合は内部の者とジョイントで有資格とする。
- ◇ 指名入札を増やすべきである
- ◇ ペーパーカンパニー調査して減らす
- ◇ 平等な指名。指名がなければチャンスもない。
- ◇ 発注条件を地域限定に絞り込む
- ◇ 本当に必要な社会資本の設備拡充について、住民にもっと宣伝・アピールし、公共事業の大切さを教えること。
- ◇ 地域経済の活性化を明確に打ち出し、市や県の財政支出はまず地元にする事
- ◇ 一般競争応札範囲を少なくしていただきたい。(特に県土整備発注工事) 下期に集中発注ではなく一年間通じて平均に発注していただきたい(代理人に影響がある)
- ◇ 県土整備管内および市内本店などの入札条件を付ける
- ◇ ありません

- ◇ 総合評価・ダイレクト入札においては、条件（地域・施工実績）等の規制や制約が多く、参加したくてもできないケースが多い。難工事・大きい工事等ならわかるが、新規参入社も受注出来るようにしてほしい。
- ◇ 受注競争の激化に伴い、コストダウン（原価）が限界を超え、赤字工事でも受注して、下請の金額を下げる。これも限界に来ていると思います。現状なんとか耐えて、業者数が減るのを待つしかないかと思っています。※入札しても受注が難しく、ポイントにならない。実績が残らない。などの問題をなんとかしてもらいたいのですが。
- ◇ 施工技術の評価を重要視し、向上させ県外業者より地の利を生じ受注に努力していく。
- ◇ 一般競争入札の本数を増やす。参加しやすくする。
- ◇ 指名入札の増加、指名入札の金額の上限を上げる
- ◇ 参加条件が県内本社の一般競争入札の実施
- ◇ 地元の業者の指名競争入札
- ◇ 工事分割、入札条件緩和
- ◇ 入札制度の根本的見直し
- ◇ 施工の実態（元請け・下請けに限らず）を十分に把握すればランク付けで発注を決める手段は間違っているように思われます。特に当社は技術を売り物にしているので元請・下請に限らず専門分野での技術力（労務費で運営（売上が）している）、売上方式で経審審査をされている現在の状況では、ランクが上がらず入札参加ランクの関連で少ないように思えます。（このランク付は問題があるように思えてなりません）
- ◇ 金額の大きい物件はJVで（同県内）行う
- ◇ 業者数を減らす方向に、指名を12～15社を6～8者程度にしてほしい。地元業者を優先し、各種の福利厚生を充実してる業者を選定してほしい。又各種の団体（協会等）に加入し、ボランティア等協力等も加算してほしい。一般競争も範囲が広すぎて。設計額を未公表事後公表として欲しい。
- ◇ 入札制度の改革
- ◇ とにかく地元企業に仕事を発注する事これによって全ての企業が潤うと思います。
- ◇ 技術力をもっと評価した入札制度にして業者を絞ってもらいたい
- ◇ 埼玉県の入札参加を出しているのですが、一回も指名がありません。埼玉県・熊谷市などどのような基準で指名参加をしているのか教えてください。
- ◇ 公共事業は格付けで入札が決定されているので、技術力を高め入札参加したくても参加出来ないのではなお一層格付けが下がるようになっている。
- ◇ ランクで仕事の発注が決められてしまうので、わが社のような中小企業は大手ゼネコンに太刀打ち出来ない
- ◇ インフラの保守の為の工事、耐震工事、改修工事

- ◇ 技術力で勝負するか、財務健全化や、新しい分野等の為の研究開発指導能力の充実強化
- ◇ 解体工事専門業者であるが、本来とび・大工として発注していただけるものも、建築工事業者になっており、参加の権利をはく奪されている。解体工事はとび・大工で発注していただきたい。一般建設でも市内本店業者としている為参加の機会がない
- ◇ 指名の時は県内業者に絞ってもらう。一般競争入札の場合は、県内業者という条件は募集とする。
- ◇ 予算を国から引っ張る
- ◇ 極力、県内及び市町村業社に発注していただくことが重要です。各行政府が、優先適にという  
と難しいと思うが、あえて、各市町村の発注は各市町村内の業者に向けられることを希望します。
- ◇ 分離発注をしてほしい
- ◇ 中小企業の為、協同組合を作ってほしい。商品等の統一性を考えて。

### 「2008 年度に受注した埼玉県発注公共工事の採算状況（完成工事総利益率）—赤字の原因—への意見」

- ◇ 材料の設計単価が実状とかけ離れて安いのはなぜか？
- ◇ 発注者の都合で工期だけ伸ばして、結果代理人等の経費が増加して赤字となった。
- ◇ 最低制限価格で落札しており、いたしかたない。
- ◇ 小規模工事で経費が少ない
- ◇ 積算価格（役所設計価格）が安い事
- ◇ 検査員の過剰な、調査・検査の繰り返しによる経費の増大
- ◇ 下請けの為
- ◇ 会社方針
- ◇ 設計額の事前公表（受注実績をつけるために最低制限価格を予測して合わせるため）
- ◇ 総合的に考えると計算上なる。

### 「埼玉県発注公共工事の設計や積算・予定価格について、特に問題と思われる内容への意見」

- ◇ 設計コンサル等が適切な図書を作成していないため、現場と図面が合わないことが多い。そのつど打合せ、手直しが増える。その費用負担を工事業者にかぶせるのはいかなものか。
- ◇ 土木施設管理（特に草刈り・剪定）では積算方法が不明で設計金額の満額でじちゅうしたとしても採算に全く合わない業務がある。この部分が低賃金労働者の雇用に繋がっていると思う。

- ✧ ガソリン価格等、現状に合わない価格になっている。・工事施工時間で道路使用許可が9：00（8：30）～5：00（5：00）だど準備に30分、片付けに30分、実際には6時間しか作業が出来ない。補正が必要では。
- ✧ ①重機回送費、仮設敷鉄板運搬費の積上げ計上をなくしたこと。②労務単価安すぎる。（設13,100円～）実際15,000円～17,500円）③役所都合で工期を延長する時は、その分の経費を計上するべきです。
- ✧ 同じ工種でも歩掛りが同じでは意味は無い。
- ✧ 県では5千万未満工事について予定価格を開示していた。従って、自社で積算にも県の予算が入札対象としては優先されるわけで、自社の積算を無視して入札することがあった。15%程カットして入札したところ、数社の価格が同一となり結果抽選となった。当初から採算と合わない工事を承知して入札を抽選で落札したため施行はしたものの、相当の赤字工事となりました。
- ✧ 積上げ方式による設計金額なのに、落札率が70～80%なのは努力の域を脱している。
- ✧ 機会の使用に間違った積算が見られる。機械の回送代が入っていない。
- ✧ 途中変更が多い
- ✧ 発注場所により経費率を変えるべきだと思います。たとえば交差点工事等より経費のかかる工事は、大幅に経費を加える等。
- ✧ 今年度から参加しておりますが、入札設計書および金額をみておっざば過ぎると思う。見えない部分が多い。
- ✧ 設計後の歩切りが行われていないか？
- ✧ 設計単価の採用に当たって今低入札価格（ダンピング）がほぼである現状ではデフレスパイラルはどんどん進行してしまう実状ではなく予定（GDPの成長率を加味した）価格にして単価を設定しないと解決しない。
- ✧ 最低制限価格を設けてほしい
- ✧ 特AクラスおよびAクラスの受注が特に目立ちます。又、総合評価するとB、Cクラスの受注の機会が少なくなり受注が困難となっております。DK122
- ✧ 継続して行っている仕事（複数辺で契約していたり、業務委託で継続性のある仕事）の積算が前年対比で行われており、業務の仕様が細かいところで変更になっても積算に反映していない。
- ✧ 人件費が安すぎる。結果手持ち機械代で対応しているが限界に来ている。
- ✧ 設計外の仕事で多少増えた時はそのままへった場合はすぐ減額になる
- ✧ 段取り・効率を無視した、監督員の独断的な指示による、経費の増大。（受注業者と協議して決めるのではなく、一方的に押し付ける）
- ✧ 変更が多いため工期の延期が多く無理な施工をせざるを得ない。
- ✧ 単工事が多く、労働単価が低すぎる。一日工事にならない。い工程ごとの工事。



- ◇ 労務費調査方法に問題がある。保険料他、労務費にかかるものが加算されず。
- ◇ 発注部所によってのバラツキが大きい
- ◇ 労務費の見直しをお願いしたい
- ◇ 設計（担当者）が積算及び計算書等のチェックされているか疑問がある。上司または同僚がチェックしているとはおもえない点があったことがある。チェック機能を充実してほしい。
- ◇ 大工事も小工事も㎡単価が同じなのはおかしい。
- ◇ 埼玉県発注の草刈り業務で仕様書の数字と現場の数字が、大きく違うところが多かった。現場を確認してから入札したが、細かいところまで計算できなかったため、だいぶ多く草刈りをやることになった。
- ◇ 設計者監理者等の手続きが工事価格の割合より高すぎる故に積算が低く、その上地方の市町村は積算額よりも安くも高くも見直しができない（機能が無い）ため何でも20%カットでやっている。
- ◇ 現在（21年11月）は改善されているが、10月までは最低価格が66.4%になっていたため、一般競争により落札価格は過当競争になっている。予定価格の事前公表はやめるべきだ！積算なしに、単に予定価格の最低ラインで入札しているため同札が多数社でくじびきになっている。
- ◇ 改修工事で、現状をきちんと見ていないことが多々ある。
- ◇ 現地の調査をせずに、施工の分からない担当が設計することが問題

### 「辞退理由—その他の回答—」

- ◇ 電子入札システムのトラブル
- ◇ 予算価格で施工できない
- ◇ 積算部の人事不足
- ◇ 電子入札の明細見積が提出できなかった。
- ◇ 参加条件が厳しかったから（事後審査）
- ◇ 時間までに対応できなかったため
- ◇ 見逃してしまった
- ◇ 入札期日を間違え入札期を過ぎてしまった

### 「埼玉県発注工事における低落札率の原因—その他の回答—」

- ◇ 建設業は労働集約産業のため生産性がどうにも低下しがちである。また社会の流れの中で高品質・高耐久性が求められなくなり、これが職人の質の低下に繋がっている。

- ◇ 入札参加業者が多すぎる。最低価格が低い失格になったりした。
- ◇ 仕事量、利益率が伴わないための争いであると思います。
- ◇ 落札率が低いことは無い
- ◇ 大きい企業が悪い
- ◇ 物件が少ないため、年間見積もりが4～5回
- ◇ 最低制限価格以下の場合無条件にし失格としなければ低価格受注は無くならない
- ◇ 県発注工事はほとんどありませんが、あってもばしょがすごく遠かったりするので
- ◇ 工期が長すぎるため技術者の配置が難しい
- ◇ 年間を通しての売り上げを確保する意味から、公共事業は金額が大きいので、赤字を覚悟してでも、入札に参加し、業者同士の体力勝負になっている。
- ◇ 単価が安い
- ◇ 歩切りは法律違反

### 「地域への貢献—具体的内容—」

- ◇ 地域のイベントへ協賛金を拠出。ごみ収集活動（ボランティア）
- ◇ グランドワーク里山の育成に協力
- ◇ 災害パトロール・除雪作業・道路美化清掃・地元祭典時資材無償提供・高校生、大学生に社会勉強の場提供
- ◇ 毎月一回、社員全員で地域のゴミ拾い、空き缶拾いをしている。
- ◇ 主として災害対策
- ◇ ①は直接災害が発生してないが、防災協定の締結で、発生時を予測した活動をしている。また県土設備事務所の下で、ロードサポート活動（道路の清掃等）を実施している。地域住民の採用はもちろんの事として実施している。
- ◇ ゴミ置場の清掃など
  - ・ 毎朝全従業員による近所の道路清掃・会社敷地内へのゴミ集積所の設置・近隣の方々の苦情受付、対応等。
- ◇ 組織により義務付けられている。
- ◇ 災害時の為に、小規模、大規模の協定を結んでいる。
- ◇ 県主催の「さいたまみどりのトラスト協会」に加盟している。
- ◇ 社長が地域の民生委員として20年、現在も続行
  - ・ 自治体と防災協定を結んでいる。・地域の学校の校外授業に協力している。
- ◇ 遊休地活用。高齢者の住宅に関すること
- ◇ 台風・大雪・大雨の時、災害時の復旧、パトロールをしている。

- ◇ 災害時における水道施設復旧に関する協定書（埼玉県）災害時における復旧活動協定書（古川市）
- ◇ 災害時の復旧に関する協定を業界団体と県で締結している。
- ◇ 清掃、除草のボランティア活動。自治会参加している。イベント、祭に事務所トイレの開放、車両等の提供、子供の安全防犯の110番活動
- ◇ 大利根町の祭、イベントに協賛金や人材を派遣する
- ◇ さきたま火まつり、行田市の時代祭等の協賛金等
- ◇ 町の商工会、体育協会役員として町での歳時には準備から協力、体育祭、地元の祭り、マラソン大会等毎年協賛金を支払っている。昭和36年から長く仕事をさせてもらっているため、地域の公共施設の修理等請けることは多いですが誠意的に対応することを心掛けています。
- ◇ 台風時等の対応、夏祭、美化運動に参加している。
- ◇ 災害対策会員として
- ◇ 地域で排出される廃棄物を、有効利用すべく、商品開発につとめている
- ◇ 除雪作業、エンカル散布、祭りに参加。学校林間伐、除草、水路掃除
- ◇ ゴミ箱を作りカラス防止をしたり、本下水の依頼、ジャリ敷
- ◇ インターンシップによる学生の研修を行う。
- ◇ 毎週土曜日、朝会社前面道路（市道）の清掃、ゴミ拾い
- ◇ 地域建設業の協力会に参加しており狭山市と災害時応急措置の協定を結んでいる。2、狭山市七夕祭りに協賛している。
- ◇ 週1回ゴミ拾い4班に分けて行っています
- ◇ ロードサービスや祭りの協賛金、駐車場の提供、県知事との防災協定締結
- ◇ 祭典、盆踊り等に協賛金で協力
- ◇ 除雪、水害時の排水、土のう積等
- ◇ 災害対策活動、商工祭への参加、地元からの雇用
- ◇ 彩の国ロードサポートの契約を結び地域貢献をしている。
- ◇ さいたま市中学生職業体験事業への協力。さいたま市より消防協力事業所への認定をうける
- ◇ 地域貢献は事業税を納めることです
- ◇ 町内会のイベント等に参加助成、道路（歩道等）のサポート契約をしております。
- ◇ 463BPの中央分離帯にあきかんが多く見られたのでゴミ拾いを何回か行った。それを役所に報告し、草刈りを行ってもらうようにした。いまだにゴミのポイ捨てはなくなっていない。
- ◇ 祭りやイベントにできるだけ積極的に参加している。また町道の側溝の蓋が取りつけていないところが大変多いためなれない方が車輪を落とす、また夜間パトカーが巡回中町道の湿地に入り出られなかった時等大型重機が入れず、建設機械で引き上げたり引き出したりをしている。

- ◇ 道路美化運動に協力しています。県道・市道で3Km。社会福祉に協力して平成21年11月5日に代表取締役が知事表彰を受けました。
- ◇ 役員が地域のロータリークラブ内で社会奉仕活動を行っている。
- ◇ 市の災害協定に入って、発電機や投光機などいつでも使えるよう整備している。社の車庫に太陽光発電設備を乗せ、また、それを見学できるようにしてある。

### 「地域への活動—具体的意見—」

- ◇ 快適な住環境を維持するにはどうしたらよいかと考えて仕事をしている。
- ◇ 地元行政に対し、次年度予算用の見積りを無償で行っています。(小規模工事の為、実際工事発注時には指名されません)
- ◇ ⑨を入札制度に取り入れる
- ◇ 特に緊急時における即時対応
- ◇ 地域住民に安心して住める住宅建設を主体としている。
- ◇ 温泉があるので、緊急時に、風呂替りとして利用していただくこと。
- ◇ 地元業者に発注すると地域とのコミュニケーションが取りやすいので地元業者に発注を希望する
- ◇ 公共事業を増やし雇用の促進をどんどんすすめていかなければ大変な事になると思います。
- ◇ 県の場合はありませんが…、市の場合ですと、地元であることを理由に無茶な指示をされる場合があります。協力する体制があることを、逆手にとって、不利益を受けることに、最近は腹が立っています。
- ◇ 公共工事の発注のしかたを県・市町村は考え直す事。現場では点数や実績の資料のみで指名しているが実際はその下でやっている者の方が経験や技術がある。何か方法があるのでは。
- ◇ 環境の為に、光触媒、チタン溶接の全国展開、高性能ガンマ線や光触媒を活用した空気洗浄機を共同開発し、北里大学の照明も受け、全国展開中です

### 「国および地方自治体への要望—具体的意見—」

- ◇ 建設労働者が誇りを持って仕事出来る現場環境の整備
- ◇ 工期延期時の管理費の負担、小規模工事の単価の引上げ(最低半月と考える)、完成工事検査前の工事完了における代理人の使用許可
- ◇ 最低賃金価格を10%程度にしてほしい。
- ◇ 地元住民の意見を聞いて喜ばれる工事を施工したい。最近はどうぼう扱いです。

- ◇ 役所の予定価格の低下が目立ち（原価）、応札者は原価虫の入札をしている。適切な予定価格を望みます。
- ◇ ①は要りません。
- ◇ 入札要件において、金額以外の地域性や会社の資格（ISOなど）技術者など努力する方向性を明確にしてほしい。
- ◇ 技術の進歩に対する技術者の研修の支援が必要である
- ◇ 昨今、工事検査実施に当たり、非常莫大な書類を要求するケースが多くなり、請負金額に見合った、書類を極力絞り、簡素化を考えた方が良い。中小企業の負担が大である。
- ◇ 世の中めまぐるしい変化に中々対応しきれないところが多々ありますが大企業だけでは建設業は成立しません。中小零細があればこそです。
- ◇ 低入札の原因は、目先の仕事が無ければ倒れてしまうという危機感があるからです。他者よりも長く生き残るために活路を見出している状況です。急激な変化は混乱を起こします。業界をコンパクトにするにしても、ゆるやかにそれなりの時間をわけて行うのが行政の為すべき役割だと思います。
- ◇ 価格の競争だけをすることをやめてほしい
- ◇ ①地球温暖化防止として地熱暖冷房工法開発中。県の施設にご利用願いたい。②鋼管杭の無振動工法の採用を願う。
- ◇ 地元の中小企業を積極的に受注機会を増やす入札形式の導入や、支援をぜひ行ってほしい。（例えばJVなどには地元企業を必ず入れるなど）
- ◇ ペーパーカンパニーは毎年増えていると思います。会社設立申請の時、調査をして、許可を出していただきたい。ペーパーカンパニーは計審の点数が高い事はどうしてなのか？疑問です
- ◇ 県や市は地方業者育成に熱心であり、地域の活性化につながる発注をしていただいていると感じますが、国の発注は地元業者を無視した、あるいは地元業者の存在に関係なく、発注しているようである。また、新参入しづらい（受注に関して）
- ◇ 経審評価の見直し、総合評価の見直し、ご検討願います
- ◇ 公共工事の件数を増やし雇用を促進して、税収を上げる方向をしっかりと考えて行った方が良い。今のままでは、税金を支払うまで仕事がない。
- ◇ 労働者福祉の為に各種保険・年金・退職金制度への加入条件徹底により、公平なコストによる受注競争の向上。下請け業者従事労働者の福祉向上を徹底する。売上額に応じた納税額の高低による受注機会の優遇策
- ◇ 技術力（専門工事各分野等）を発揮できる発注状況を作成してほしいです。工事内容の把握と現実の下請状況を公共事業側はよく見てほしいと思います。なぜならば現状はすべて技術者で（一人ひとりの技術力）で成り立っているはずですので。当社は技術者集団です。

- ◇ 各市町村への、業者に対する圧力的な指示を指導していただきたい。いつからか、地元業者にお金を払わずに多くのサービスをさせることだけが、至上の目標になっていて、地元住民そのものである業者が虐げられていることに目を向けない行政を何とかしてください。
- ◇ 無料相談窓口の拡大、戸別訪問などの徹底
- ◇ 現在の一般入札の参加資格をもう少し絞った地域にしてほしい。
- ◇ 上記の質問事項は絵に描いたボタモチ
- ◇ 新卒者採用企業への助成・育成支援
- ◇ 行政を頼っている限り、発展は望めないと思います。成熟社会では常に新しく開拓する気持ちを持ち、時代の要求にこたえる必要があると思います。